学習開発学講座講演会

Department of Learning Science

Online Conceptual Artifacts and their Acceptance among Adult Users

オンライン上の概念人工物を，成人の利用者はどのように受容するのか？

(講演内容)
オンライン上の概念人工物はどのように使用されるべきなのか，どのような要因が実践共同体(communities of practice)での受容に影響しているのかについて，心理学と教育学の観点から検討する。また，教育実践として，オンライン上の概念人工物がどのようにあるべきか，そのモデルを提案する。

≪講　演　者≫

ニコライ・ニストール（Nicolae Nistor）

（広島大学大学院教育学研究科学習開発学講座客員教授，

ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン）

(講演者紹介)
ドイツのルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン心理・教育学研究科研究員。専門はEラーニング。ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘンにて博士号（教育学）取得。特に，学習，ナレッジコミュニティに関する科学技術に関心を持っており，"Online help-seeking in communities of practice: Modeling the acceptance of conceptual artifacts. Computers & Education." といった多数の研究論文を発表している。同大学の研究グループとして，2000 年にドイツのバイエルン州科学研究芸術省の優秀教育賞，2007 年にヨーロッパ E ラーニング賞を受賞している。平成 24 年 3 月 1 日から平成 24 年 9 月 30 日までの 7 ヶ月間，学習開発学講座客員教授。

日　時　　平成 24 年 4 月 26 日（木）　14:00 － 16:00

場　所　　広島大学教育学部Ｌ１０４

対　象　　特に参加資格はありません。テーマに関心がある方は奮ってご参加ください。事前申し込みも不要です。

参加費　　無　料

問い合わせ先：　広島大学大学院教育学研究科学習開発学講座・教授
森　敏昭（tosmori@hiroshima-u.ac.jp，内線 6764）